

一般財団法人千葉陸上競技協会

第28回理事会議事録

令和元年6月22日

一般財団法人千葉陸上競技協会

代表理事：

議事録署名人：

議事録署名人：

第28回理事会

日 時 令和元年6月22日(日)午後3時00分
会 場 千葉県総合スポーツセンター 陸上競技場会議室
出席状況 出席 26名 欠席 3名 計 26/29

議事内容

- (1) 平成30年度事業報告(案)について
- (2) 平成30年度決算(案)について
- (3) 監査報告について
- (4) 令和元年度・2年度有識者理事及び監事の選任について

報告内容

- (1) 日本陸上競技連盟理事会について
- (2) 千葉県スポーツ協会理事会について
- (3) 各専門委員会より
- (4) その他

1 開会 午後3時

2 定数確認(木内専務理事)

定数29 出席26名 欠席3名 計 26/29

定款第37条により、本理事会は成立。

3 会長挨拶(宇野会長より)

(要旨)理事の皆さん、お忙しい中、第28回理事会への出席に感謝する。また、日頃より大会運営に尽力され感謝する。本日は多くの議事があり、慎重な審議をお願いする。

4 議長選出

木内専務理事から説明があった。

- ・議長選出については定款第36条により、「代表理事又は業務執行理事があたる。」とある。代表理事である宇野会長に議長をお願いする。

5 議事録署名人

宇野会長から説明があった。

- ・定款第41条により、「代表理事及び監事が記名押印する。」とある。よろしく願いする。

6 議 事

議案（１）平成３０年度事業報告（会議・派遣事業関係）（案）について
議長から、議案（１）会議・派遣事業関係について、市東総務委員長に説明するよう指示があった。

（市東総務委員長）

平成３０年度事業報告（会議・派遣事業関係）（案）の資料参照を願いたい。

◎派遣事業

- 1 第73回国民体育大会 10月 5日（金）～9日（火）福井
監督・コーチ・スタッフ15名 選手29名
天皇杯 第2位 127点 皇后杯 第5位 53点
- 2 第34回東日本女子駅伝 11月11日（日）福島 第4位
監督・コーチ・スタッフ10名 選手13名
- 3 第37回全国都道府県対抗女子駅伝 1月13日（日）京都 第5位
監督・コーチ・スタッフ9名 選手13名
- 4 第24回全国都道府県対抗男子駅伝 1月20日（日）広島 第14位
監督・コーチ・スタッフ10名 選手10名

◎表彰事業

千葉陸上競技協会栄章

- 功労賞（3名） 勲功章（16名）
県最高記録章（2名） 高校記録章（2名） 中学記録章（2名）

◎講習会

- 1 千葉陸上競技協会審判講習会 4月 1日（日）千葉大学教育学部 340名
- 2 B級公認審判員取得講習会 2月24日（日）宿泊研修所大ホール 80名

◎国体選手強化事業

- 1 5月 3日（木）～ 5日（土）国体強化練習会 （総ス）
- 2 8月19日（日）～21日（火）国体強化合宿 （山梨）
- 3 9月 1日（土）～ 2日（日）国体強化合宿 （総ス）
- 4 9月23日（日）～24日（月）国体強化合宿 （総ス）
- 5 1月12日（土）～13日（日）国体候補選手強化合宿 （鴨川）
- 6 1月 4日（金）～ 5日（土）都道府県駅伝強化合宿 （長柄）

◎諸会議

- 1 理事会 (第22回) 2018年4月22日(日)
(第23回) 6月24日(日)
(第24回) 8月11日(土)
(第25回) 12月15日(土)
(第26回) 2019年3月26日(火)
(第27回) 4月21日(日)
(第28回) 6月22日(土)

- 2 定時評議委員会 6月23日(日)

- 3 事務局会議 (第1回) 4月7日(土) 千葉県記録会プログラム編成会議
(第2回) 6月10日(日) 千葉県選手権プログラム編成会議
(第3回) 6月30日(土) クラブ対抗プログラム編成会議
(第4回) 7月21日(土) 国体最終選考会プログラム編成会議
(第5回) 9月22日(土) 県民体育大会プログラム編成会議
(第6回) 10月6日(土) 秋季記録会プログラム編成会議
(第7回) 1月12日(土) 大会要項検討・審判講習会準備会議

- 4 選手選考会議 8月11日(土) 国民体育大会選手選考 (総ス)
9月1日(土) 東日本女子駅伝選手選考 (宿泊第3研)
11月24日(土) 都道府県対抗男子・女子駅伝選手選考(総ス)

- 5 委員長会議 12月1日(土) 宿泊3研

- 6 栄章委員会 (第1回) 4月22日(土)
(第2回) 12月15日(土)

- 7 財務委員会 3月2日(土) 宿泊3研

- 8 監査 30年度決算 2019年6月8日(土) 総ス陸

議案(1)平成30年度事業報告(競技会関係)(案)について

議長から、議案(1)競技会関係について、伊藤競技運営委員長に説明するよう指示があった。

(伊藤競技運営委員長)

平成30年度事業報告(競技会関係)(案)の資料参照を願いたい。

- ・千葉陸協主催10競技会、高体連主催4競技会、中体連主催4競技会、参加人数等も例年通りである。また、競技会運営も問題なく無事に終了する。

議長から質問及び意見が求められたが特になく、承認された。

議案(2)平成30年度決算(案)について

議長から、議案(2)について、西脇経理部長に説明するよう指示があった。

(西脇財務部長)

事務局中村理事より説明する。

(中村理事)

平成30年度決算報告書を参照願いたい。

- ・決算報告書1ページは「貸借対照表」、2～3ページは「収支計算書」4ページは「財産目録」5ページは「監査報告書」である。
- ・法人会計基準に準拠し、税理士に確認の上、これらの財務諸表を作成した。
- ・「貸借対照表」は当該事業年度末における法人の財務状態を表示することを目的としている。
- ・「収支計算書」は法人の正味財産の増減の内容を明らかにすることを目的としている。
- ・固定資産の減価償却の方法は定率法により行っている。
- ・1ページの「貸借対照表」について説明をする。前年度との比較増減であり、「資産の部・流動資産」は714,708円増額となった。また、「資産の部・固定資産」は585,546円減額になった。資産合計金額は21,580,661円である。対して、「負債の部」は、0円である。これにより「正味財産の部・一般正味財産」は21,580,661円になり前期比129,162円の増額になった。
- ・2～3ページも「収支計算書」について説明をする。予算額との比較増減であり、経常収益は4,288,590円増額である。経常費用は4,159,428円増額であった。経常収益合計が86,542,162円だったことに対し、経常費用合計が86,413,000円だったので、差引129,162円の当期経常増額であった。経常収益は86,542,162円であり、内訳は、[登録料]21,122,500円、[補助金]23,330,832円、[事業収入]38,420,504円、[その他の事業収入]3,668,170円、雑収入受取利息156円であった。収支ともに増加した要因は、ちばアクアラインマラソン2018が開催されたためである。
- ・[経常費用]は86,413,000円であり、内訳は[事業費]78,300,045円、[管理費]8,112,955円であった。
- ・[事業費]については、[大会費]38,313,411円、[派遣費]5,626,460円、[強化費]30,755,440円、[会議費]81,416円、[旅費交通費]234,220円、[報償費]12,000円、[印刷費]30,240

円、[表彰費]168,112 円、[負担費]2,493,200 円であった。

[減価償却費]は 585,546 円であった。

- ・[管理費]は、事務局費でもあり経費の見直し、節約等を図り予算比 565,269 円の減額であった。以上が、平成 30 年度決算の認定についての説明である。よろしく審議をお願いする。

議案（3）監査報告について

議長から、議案（3）について、監査報告を求め、小松崎監事より監査報告があった。監査報告書を参照願いたい。

（要旨）平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業年度の職務執行、計算書類、事業報告等を監査した。

1 監査方法及び内容

理事及び事務局等との意思疎通による情報収集に努めるとともに、理事会等会議に出席し、専務理事および事務局職員から職務執行状況の報告を受け、また必要に応じて関係書類の閲覧等により業務および財務の状況を調査した。以上の方法にもとづき、当該事業年度に係る事業報告について検討し、会計帳簿等資料の調査を実施し、計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）およびその附属明細書ならびに財産目録について検討した。

2 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- ①事業報告は、法令および定款に従い、法人の状況を正しく示していると認める。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する行為は認められない。

（2）財務報告等の監査結果

計算書類およびその附属明細書ならびに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示していると認める。以上監査報告である。

今後の改善策として、千葉県競技力向上推進本部からの強化資金運用について、領収書を添付の上、県に会計報告をしている。同様に千葉陸上競技協会強化費運用について、駅伝部のみが領収書添付で会計報告をしている。今後は強化委員会、中体連、高体連も強化費運用を明確に報告することを進言する。

議長から、議案（2）及び（3）について質問及び意見が求められた。

意見（中村理事より）

- ・千葉陸上競技協会の強化費運用については、より透明性が求められる。
- ・事業報告の内容は詳細に作成することを望む。

議長から、議案（２）及び（３）について、再度質問及び意見が求められた。特になく議案（２）及び（３）について承認された。

議案（４）令和元年度・２年度有識者理事及び監事の選任について

議長から、議案（４）令和元年度・２年度有識者理事及び監事の選任について、木内専務理事に説明するよう指示があった。

（木内専務理事）

令和元年度・２年度有識者理事及び監事の選任についての資料参照を願いたい。

1 理事	有識者	宇野 裕	早稲田クラブ千葉
2 理事	有識者	長谷川 良介	国士館大クラブ
3 理事	有識者	岩本 一雄	陸桜会千葉
4 理事	有識者	木内 俊秀	早稲田クラブ千葉
5 理事	有識者	市東 和代	リーダーズクラブ
6 理事	有識者	伊藤 信夫	松戸市陸上競技協会
7 理事	有識者	伊東 謙二	リーダーズクラブ
8 理事	有識者	松本 健	順天堂大学 OB、OG クラブ
9 理事	有識者	秋葉 麻帆	順天堂大学 OB、OG クラブ
1 0 理事	有識者（事務局）	中村 吉光	ベルランニング
1 1 理事	有識者（学連）	越川 一紀	順天堂大学クラブ
1 2 理事	有識者（高体連）	香取 憲吾	陸桜会千葉
1 3 理事	有識者（中体連）	舟橋 昭太	TAC
1 4 理事	有識者（マスターズ）	鈴木 久一	千葉マスターズ陸上競技クラブ
1 監事		小松崎 光一	陸桜会千葉
2 監事		門野 誠	柏市陸上競技協会

議長から、議案（４）について質問及び意見が求められた。特になく議案（４）について承認された。

報告事項（１）日本陸上競技連盟理事会について

議長から木内理事に、日本陸上競技連盟理事会の報告をするよう指示があった。

(木内理事)

私(木内)が令和元年6月14日、日本陸上競技連盟評議委員会で日本陸上競技連盟理事に承認されたことを報告する。令和元年6月17日日本陸上競技連盟理事会に出席し、その報告をする。

- ・新役員は重任である。各専門委員会の委員長も重任である。河野洋平名誉会長が名誉会長職を退任し、顧問となる。
- ・日本陸上競技界・登録制度の現状と将来像について、日本陸連への登録数は現在50万人である。マスターズは完全登録に移行した。今後は小学生も登録制とする。記録一元化などの様々なメリットを考慮し、将来300万人登録者構想をあげている。
- ・IAAFワールドランキング制度について、大会終了後の記録がワールドランキングに反映されていく。今後は陸連への迅速な記録提出が求められる。
- ・日本陸連はRunRink事業を通し、全国の公認・未公認ロードレース大会の運営面や安全性の指導を一括化する。
- ・スポーツ団体ガバナンスコードについて、スポーツ庁から各中央団体へガバナンスに関して指導があった。

報告事項(2)千葉県スポーツ協会理事会について

議長から木内理事に、千葉県スポーツ協会理事会の報告をするよう指示があった。

(木内理事)

令和元年5月15日(水)千葉県スポーツ科学センターで第1回理事会が開催された。議事については、別紙会議資料を回覧する。参照を願う。

報告事項(2)専門委員会より

議長から各専門委員長等に指示があり、委員会ごとに各委員長が説明をした。

総務委員会(市東委員長)

- ・千葉陸協だより第14号を発行する。
- ・資格審査を要する大会での書類不備が多いので、各団体の責任者に通達をする。

競技運営委員会(伊藤委員長)

- ・資格審査を要する大会がある。各地区情報記録担当者に公認申請の事務処理を迅速にしてくださいよう願う。
- ・2020アクアラインマラソン大会に向け、審判員を願う。

強化委員会（伊東委員長）

- ・国体の応援に感謝する。
- ・次年度から始まる国体での種目変更の種目に関わる競技場の整備を願う。
- ・東京オリンピック、インターハイ開催日程の関係で、来年の国体最終選考会が例年の日程で、できない状況にあり検討している。
- ・男女混合リレーの選手を県代表として扱い、派遣費を願う。

施設用器具委員会（松本委員長）

- ・2020アクアラインマラソン協力を願う。
- ・千葉県総合スポーツセンター陸上競技場改修に伴い用器具も新調する。使用できる用器具について、東総陸上競技場へ移すことを検討する。

学連（越川理事）

- ・第31回六大学対抗陸上競技選手権大会は順天堂大学が当番校であった。大会運営に千葉陸上競技協会の協力を感謝する。
- ・第32回六大学対抗陸上競技選手権大会は日本大学が当番校である。千葉陸上競技協会の協力を願う。
- ・別紙、第98回関東学生対校陸上競技選手権大会結果より千葉県出身選手の活躍を報告する。

高体連（香取委員長）

- ・県高校総体において、千葉陸上競技協会の協力を感謝する。
- ・2019年全国高等学校陸上競技選手権大会南関東地区予選会成績一覧を参照願いたい。都県対抗では男子1位、女子3位であった。男子44種目で入賞、内11種目で優勝。女子29種目で入賞、内7種目で優勝。全国大会には、73種目に出場する。
- ・2019年10月19日から20日に東総運動公園陸上競技場で関東新人陸上競技大会が行われる。大会運営の協力を願う。

中体連（舟橋委員長）

- ・報告なし。

マスターズ（鈴木理事）

- ・4月に行われた第50回千葉マスターズ記録会の協力を感謝する。
- ・8月3日第38回千葉マスターズ選手権が行われる。運営等の協力を願う。
- ・(質問) 2020年東京オリンピック、聖火リレーについて、日本陸連として聖火リレーランナー枠があるのか。あるならマスターズにまわしていただけるのか。

回答（木内専務理事より）

- ・日本陸連としての枠はない。オリンピック組織委員会が管轄している。

議長から各専門委員長からの報告に対し質問・意見を求めた。

確認（宇野会長より）

- ・300m や300mH の新たな種目のラインやマークについての説明があったが、競技場改修計画に取り入れてほしいということか。

回答（木内専務理事より）

- ・新種目のマーキングが改修計画にあるのか確認をする。

確認（宇野会長より）

- ・千葉県総合スポーツセンター陸上競技場の改修工事により用器具を新調する。関東新人大会に向けて、旧用器具を東総陸上競技場に持っていくということになっているが、旧用器具を今後東総陸上競技場の器具として扱うことはどうなのか。

回答（松本施設用器具委員長より）

- ・東総運動場陸上競技場の用器具はかなり劣化している実状がある。大会への搬送を機に、管理部署との確認の上、対応を検討する。

報告事項（3）その他

- ・特になし。

8. その他

質問（塩谷理事より）

- ・現在の千葉陸上競技協会の定款が、現在の社会情勢にあっているものなのか、様々な観点から、定款の見直しを要望する。

回答（木内専務理事より）

- ・千葉陸上競技協会の定款について、社会情勢等を踏まえ、現在慎重に検討をしている。

9 閉会

宇野会長から閉会が宣言された。

午後16時18分 閉会